

## 第6章 実現方策

### 1. 計画的なまちづくり

鷹栖町は、基幹産業が農業の都市であり、安易な市街地拡大や環境負荷の増大は、農業・農地の停滞と表裏一体の関係にあります。

そのため、市街地を安易に拡大するのではなく、空地の効果的利用、高度利用を意欲的に進め、農業と都市活動が両立するまちづくりを目指します。

### 2. 住み続けられるまちづくり

鷹栖町では、人口・世帯数減少と少子高齢化への対応が重要課題です。

人口・世帯数の減少の緩和のため、未来を担う子育て・若者世代の移住・定住を促進するため、子育て支援の充実に加え、民間賃貸住宅の供給誘導や既存住宅流通の活性化などニーズに合った住宅施策を展開します。

また、高齢者が町内に住み続けられるように、介護予防などの福祉施策の充実や戸建住宅から住み替えられるサービス付き高齢者住宅などの充実を図ります。

### 3. 自然や農業を活かしたまちづくり

鷹栖町の魅力あるまちづくりの土台として、豊かな自然と基幹産業である農業による田園風景など美しい景観や居住環境を保持します。そのためには、農業の健全な経営と地域コミュニティが強固な農村集落を維持する取り組みを進めます。

また、豊かな自然や景観の保全では、町民の主体的な参加を図ります。

### 4. 鷹栖らしい公共交通ネットワークづくり

鷹栖町は、旭川市に隣接し、2つの市街地と広大な農村地区を有することから、生活利便性の維持や高齢者の外出機会、まちなかのにぎわいの創出のためには、公共交通ネットワークが重要です。

そのため、旭川市と町内市街地との民間事業者による路線バスの維持と農村地区など町内の移動の足である町営バス(デマンドバス)のサービスの充実を図ります。